

まつど議会だより

発行／松戸市議会
編集／広報委員会
千葉県松戸市根本387-5
TEL.047(366)7382

会議録検索のURL <http://www.kaigiroku.net/kensaku/matsudo/matsudo.html> 松戸市のホームページ (<http://www.city.matsudo.chiba.jp>) からアクセスできます。



第62代副議長
山沢 誠



第62代議長
田居 照康

就任のご挨拶

市民の皆様には、平素より市議会に対し、深いご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

私たち両名は、平成23年12月定例会におきまして、議長・副議長に就任いたしました。

昨年は、3月11日の東日本大震災により、被災地の皆様をはじめ、日本各地が、さまざまな被害を受けました。現在、本市では、皆様の安全と安心を守るため、放射能に関わる問題への対応に鋭意努力をしております。

今年も一段と厳しい財政状況ではありますが、市長、議長という二元代表制の下、松戸市議会は一丸となり、さらなる市民福祉の向上に努めてまいりますので、今後ともご協力をお願い申し上げます。



「大関昇進おめでとう!!」 市役所で子どもたちに囲まれる稀勢の里関

11月臨時議会

平成23年11月24日に臨時会を開催しました。
一般職の給与を引き上げる議案が上程され、総務財務常任委員会で審査した後、本会議で可決しました。

12月定例会

平成23年12月定例会を6日から22日までの会期で開催しました。
今定例会は、市長より提出された議案や市民から提出された陳情を各常任委員会等で審査しました。
また、最終日には、これらの案件のほかに追加議案が上程され、それぞれ採決しました。

主な議案の概要

- ◎ 議案第25号 松戸市空き家等の適正管理に関する条例の制定について
空き家等が管理不全な状態になることを防止し、安全で暮らしやすいまちづくりを推進するため。
- ◎ 議案第26号 松戸市職員定数条例の一部を改正する条例の制定について
病院の医療従事者を増やすため。
- ◎ 議案第27号 松戸市一般職の任期付職員の採用及び給与の特例に関する条例の一部を改正する条例の制定について
住民サービスの提供時間の延長や繁忙期における提供体制の充実を図るため、任期を定めた職員の採用を可能とするため。
- ◎ 議案第28号 松戸市職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例の制定について
法律の改正で、非常勤職員も育児休業の取得が可能となったため、期間等の規定を追加するため。
- ◎ 議案第29号 市長の退職手当の特例に関する条例の制定について
市長の現任期に係る退職手当を支給しないこととするため。
- ◎ 議案第31号 松戸市手数料条例の一部を改正する条例の制定について
租税特別措置法の改正に伴い、特定民間再開発事業の認定要件から、法人等が除外されたことにより、それらに係る認定申請手数料を廃止するため。
- ◎ 議案第32号 松戸市林間学園条例を廃止する条例の制定について
松戸市立林間学園白樺高原荘を閉園するため。
- ◎ 議案第33号 松戸市スポーツ推進条例の制定について
改正されたスポーツ基本法に準じて名称変更するため。
- ◎ 議案第34号 松戸市健康福祉会館条例の一部を改正する条例の制定について
児童福祉法の改正により、「知的障害児通園施設」「肢体不自由児通園施設」の名称を「児童発達支援センター」に改めるため。
- ◎ 議案第35号 松戸市総合福祉会館条例の一部を改正する条例の制定について
公の施設としての松戸市立のみ学園を廃止するため。
- ◎ 議案第36号 訴えの提起について
大気汚染測定器の入札で談合を行った業者に対し、損害賠償請求をしたが、返還に応じないため。
- ◎ 議案第37号 和解について
排水管撤去請求事件の解決を図るため。
- ◎ 議案第38号 損害賠償の額の決定について
裁判所の和解勧告を受け入れ、事件の早期解決を図るため。
- ◎ 議案第39号 市道路線の廃止及び認定について
都市計画法により設置される道路を市が管理し、従前の道路を廃止するため。

常任委員会等の

委員長、副委員長が新たに就任しました。

- | | | |
|------------------------------------|-----------|------------|
| 総務財務常任委員会 | 委員長 深山 能一 | 副委員長 織原 正幸 |
| 健康福祉常任委員会 | 委員長 岩堀 研嗣 | 副委員長 伊東 英一 |
| 教育経済常任委員会 | 委員長 山口 栄作 | 副委員長 石井 勇 |
| 都市整備常任委員会 | 委員長 飯箸 公明 | 副委員長 川井 清晶 |
| 議会運営委員会 | 委員長 大井 知敏 | 副委員長 二階堂 剛 |
| 市立病院建設検討特別委員会
(※副委員長の就任) | 委員長 中川 英孝 | 副委員長 城所 正美 |
| 広報委員会 | 委員長 宇津野史行 | 副委員長 鈴木 大介 |



審議結果は、4面に掲載しています。

一般質問

12月定例会では、36人の議員が一般質問をしました。その中から、主な質問と答弁の内容をお知らせします。

会議の詳しい内容は、2月下旬より図書館本館、分館、行政資料センターや市議会ホームページでご覧いただけます。

また、本会議の様子をインターネット議会中継で配信しています。

(会派名の略称)
民主・市民クラブ ↓ 民主・社民

地域のしくみづくりは

無所属 中田 京

問 地域のしくみづくりが、検討・検証委員会から出された中間報告書どおりに進行していない。なぜ、その経緯が市民へ明らかにされないのか。

答 中間報告書に沿って進めるべく、関係者への事前説明を行ったところ、批判を含めてさまざまな意見をいただいた。それらを勘案し、中止の判断をしたところである。また、地域の一部や関係者のみに説明した段階なので、一般の方にはお知らせしていない。

「広報まつど」正確性と公平性を

松政クラブ 木村 みね子

問 10月15日発行の「広報まつど」に掲載した「市立病院の建て替えに一定の方向性」と題する記事は、全て事実と相違ないか。

答 構想3が、議会です承されたとは考えていないし、諸課題が多いことも十分認識している。

この記事により、市民の誤解を招いたとすれば、構想3に関して「基本的にこれを尊重する」とのうえで、幾分のずれがあったと思っている。今後は、最善の注意

子どもたちに安全性の高い防災頭巾を

民主・市民 関根 ジロー

問 学校で使用されている防災頭巾の把握をしているか。また、購入する際の注意喚起等の考えは。

答 防災頭巾は、(財)日本防災協会が安全性を認定した物やそうでない物などさまざまである。

学校では、防災頭巾の指定をしていないため、仕様等の把握していないが、より安全面に配慮された物を利用することが望ましい。今後は、入学説明会等の機会を利用しながら、どのような情報提供ができるか研究していきたい。

「広報まつど」速やかに訂正記事を

日本共産党 宇津野 史行

問 「広報まつど」で東松戸病院の上本郷への移転を議会が評価したと発表した。議会は評価していない。記事には大きな誤りがあり、多くの市民に誤解を与えた。市の責任において「広報まつど」に事実を掲載し、訂正すべきでは。

答 この記事は、議会の市立病院建設検討特別委員会が表明した中間報告に対するものである。こ

ことから、記事の訂正については、まずは特別委員会に相談すべきと考えている。

養護老人ホーム「松風荘」の今後は

松政クラブ 小沢 暁民

問 松風荘の施設運営にかかる費用が多く、もっと早期に結論を出すべきであったと思うが、検討結果を伺う。

答 松風荘は、昭和45年5月に開設し、現在まで41年が経過している。施設は老朽化が進み、新たな設備投資など、さまざまな経費が見込まれる。今後は、社会福祉法人による特別養護老人ホームとの併設施設として整備を目指し、平成24年3月末日をもって閉鎖したいと考えている。

市政施行70周年に向けた取り組みを

公明党 高橋 伸之

問 市政70周年記念行事は、どのようなイベントを企画しているか。

答 本市は、平成25年度に市政施行70周年を迎え、森のホール21も開設20周年となる。市政60周年の記念事業では、「子どもたちと市長の座談会」「松戸市長寿コンテスト」などを実施した。

現時点では、実施計画の策定には至っていないが、今後は、先進市の事例等も参考に検討し、多くの市民と一緒に祝いできるものにしていきたい。

新たな焼却灰の最終処分場を

松政クラブ 石井 勇

問 焼却灰等の安定した処分のため、新規に最終処分場の確保が必要と考えるが、見直し等を伺う。

答 秋田県小坂町への搬出が叶わず、他の最終処分場を模索しているが、いずれの処分場も受け入

れに極めて慎重な姿勢と聞き及んでいる。市では民間の最終処分場の現地視察を行い、設置自治体の草津町と協議を経て、10月から搬出を開始した。国の基準値を下回る焼却灰については、ようやく処理の道筋が見えた状況である。

松戸市土地開発公社の見直しを

市民力 原 裕二

問 債務を抱える松戸市土地開発公社を存続する理由は何か。解散について検討した経過はあるか。

答 公社は、平成21年「松戸市外郭団体見直し基本方針」により存続となった。公社の公有地取得の迅速な対応は、今後も活用が見込まれる。解散する場合には、緊急用地取得や資金の借り入れ等の手段を検討しなければならぬ。公社が抱える多額債務の解消は大きな課題であり、更なる研究を進めたい。

給食の更なる透明性確保を

民主・市民 安藤 淳子

問 小中学校の給食の情報提供と使用した食器の洗浄方法は。

答 各小中学校では、献立表を各家庭に配布している。また、ホームページへの給食写真の掲載や保護者を対象にした試食会を実施している学校もあり、それぞれの工夫で情報提供に努めている。食器の洗浄は安全性を重視し、残渣を取り除き洗浄した後、熱風消毒保管庫で消毒している。

今後も給食の情報提供に努め、家庭との連携を図っていく。



安心して給食を

不育症治療の経済的負担の軽減を

公明党 山沢 誠

問 不育症の患者負担は、通常妊娠より30万円以上も多い。検査費用や治療費の助成はできないか。

答 不育症は、妊娠はするが流産を繰り返してしまうものである。現在、県下で治療費の助成を実施している市町村はないが、国の動向を注視したい。

今後は、ポスター等を利用し、不育症の認知度を高めていくとともに、母子健康手帳を渡す際に相談支援や情報提供を行うことで、不安の軽減に努めていきたい。

防災教育・防災管理等の充実を

公明党 織原 正幸

問 東日本大震災を受け、学校における取り組みを伺う。

答 各学校では、学校安全計画や危機管理マニュアルによる児童生徒の安全確保、避難行動や保護者への引渡し方法等を見直した。それらが市の防災計画等と機能的に連携できるよう、あらゆる視点で見直しを図っている。また、「自他の命を尊重し、安全のための行動がとれる児童生徒の育成」に取り組んだ研究発表を行い、各学校の見聞を広げたところである。

松戸市単独で子育て世代の支援策を

公明党 伊東 英一

問 三人目以降の子どもを望む方への支援はできないか。

答 市では子ども医療費の助成や放課後児童クラブに対し利用料の一部を補助するなど、子育て支援サービスの拡充に努めている。これらは、子育て世代の負担感の解消や地域の子育て力の育成を支援することを基盤としている。ま

た、世代間の負担の均衡や公平性の確保を図ることも大切であると考え、総合的観点から支援策の充実を検討していく。

事業優先度評価に市民の幸福度を

絆(キズナ) 鈴木 大介

問 松戸市民の総幸福度(GMHIIグロス・マッド・ハッピーネス)を算出し、各事業の優先度の根拠にしようか。

答 本市は、平成23年度から32年度までを計画期間とする「松戸市総合計画後期基本計画」の中で、「めざそう値」を設定している。「住み続けたいと思う人の割合」や「生きがい感を持っている人の割合」などの達成目標を設定して、多様な人々とともに、10年後の将来像の実現を目指している。

若者の出会いと街の活性化のために

公明党 渡辺 美喜子

問 商店街が中心となって開催されるメガ合コンには、若者が集まり、地域活性化にもつながると期待するが、市の考えは。

答 メガ合コンは、数百人から数千人が飲食店を回遊し、出会いの場、賑わいの創出等につながり、商業活性化にも役立つと認識している。このイベントは、行政主導より市民活動団体や事業者自らの創意工夫と自由さで取り組むことが望ましい。今後は、経済団体や事業者等に研究、検討を提起したい。

地域包括支援センターの拡充を

公明党 諸角 由美

問 地域包括支援センターは、市内に3か所設置されているが、今後、拡充する考えはないか。

答 これらの支援センターは、保健師・社会福祉士・主任ケアマ

ネジャーによる専門的な相談業務を行うとともに、地域でのネットワーク構築の中心的役割を担ってきた。

一人暮らしや認知症の高齢者が増加する中、支援センターがより重要になると認識しており、今後、増設する方向で検討している。

街路樹の管理と今後の計画

公明党 飯箸 公明

問 倒れると危険な高木の診断状況と今後の対策を伺う。

答 市内には、植栽して40年から50年を経過した桜やけやきが多いことから、定期的に樹木医による樹木診断を実施してきた。平成22年度の診断実績では、全体の462本中10本が「危険」、66本が「注意」と判定された。今後も追跡調査を密に実施し、樹木診断の強化を図るとともに、街路樹パトロールを行い、歩行者および車両の安全確保に対応していく。

暴力団排除の条例制定を

絆(キズナ) 川井 清晶

問 本市の暴力団対策と管轄警察署との連携を伺う。また、暴力団排除条例を制定する考えは。

答 暴力団対策については、建設工事等からの排除、市営住宅への入居制限や既存入居者への明渡し請求などを行っている。また、平成22年には、警察との連携により、暴力団組員であることを隠し、生活保護を受給していた者の逮捕にいたった。市民の安全・安心のため24年3月定例会には、条例の制定に向け準備を進めている。

千駄堀暫定スポーツ広場利用拡大を

絆(キズナ) 杉浦 誠一

問 この広場は、サッカーやグ

※ 構想3：市立病院の整備構想のうち、千駄堀へ超急性期病院（600床）、現病院のある上本郷へ日常支援病院（200床）を整備する案

ラウンド・ゴルフを中心に利用しているが、他のスポーツもできないか。また、運動公園にして、21世紀の森と広場と一体化する考えは。

現在、グラウンドを自主管理できる定期利用の6団体が主に利用している。利用競技種目に伴うグラウンド整備は、今後の研究課題にしていく。また、21世紀の森と広場は、緑地空間づくりを指す総合公園であることから、この広場等の編入は考えていない。

家具転倒防止金具の普及について

日本共産党 高木 健

災害対策として、家具転倒防止金具の普及の進捗状況は。

東日本大震災後、7月に実施した市民意識調査では、対象者の36・9%が家具転倒防止を行っており、市民の防災意識が高まった結果と認識している。家具転倒防止の啓発活動については、特に力を入れ、パトナー講座をはじめ、新たなリーフレットの作成やDVDの配布など、継続的に取り組んでいる。今後も市民の認識がさらに向上するように、努めていきたい。

中津川の鋼矢板護岸の耐用状況は

日本共産党 山口 正子

JR馬橋駅東口近くを流れる中津川を護岸する鋼矢板は、つなぎ目から水がにじみ、草木が生えている。耐用年数と耐震計画は。

この箇所は、鋼矢板の施工上やむをえない接合部のわずかな隙間等である。設計時の耐用年数は50年で、腐食分を考慮した構造計算のため、安全性や水害に対する問題はない。しかし、耐用年数が残り20年程度であるため、10年後を目安に長寿命化改修を検討していきたい。

また、耐震についても護岸改修

に合わせ検討したい。

災害時の広域的な応援協定の検討は

民主・社民 一階堂 剛

大規模震災時等の広域的な応援協定の進捗状況を伺う。

現在、千葉県と県内全市町村やさいたま市とも協定を結び、お互いの防災訓練に参加している。首都圏直下型地震が発生した場合、避難の受け入れや物資の供給および職員の派遣等を考慮すると、遠隔地自治体間の相互応援協定は重要である。現在これらも盛り込んだ内容の協定締結に向け、鳥取県、愛知県および富山県内にある三つの自治体と協定を進めている。

就労支援の強化を

公明党 石川 龍之

就労支援部隊など、的確に情報提供し、各課をサポートする就労支援に特化した体制の考えは。

庁内の横断的な取り組みとしては、就労支援担当者間で担当者会議を開催し、情報交換、連携協力体制の強化を図っている。今後は、各課と連携を密にするとともに担当者会議がより有効に機能し、一人でも多くの方の就労につながるよう、引き続き就労支援を行っていきたい。

家具転倒防止金具の助成について

公明党 矢部 愛子

近隣市の家具転倒防止金具の助成事業の状況と本市の進捗状況を伺う。

災害弱者である高齢者や障害者にとって、家具転倒防止金具の取り付けが、地震対策の有効な手段と十分認識している。市川市は、平成21年度から障害者や高齢者を対象に、柏市では、23年4月

から障害者にこの補助事業を行っている。近隣市の事業内容を調査し、現在、事業の実施に向けて準備を進めている。

集会所の使用方法は

市民クラブ 渋谷 剛士

市内の町会・自治会および集会所の数は。また、特色ある集会所の使用例を伺う。

平成23年11月末現在で、町会・自治会等は394団体あり、集会所は118か所ある。一般的に集会所は、町会・自治会の会議や地元サークル等の活動場所として使用されている。特色ある使用例は、町会に寄贈された図書を観覧できる図書コーナーがある根木内町会や、防犯事務所として使用している幸谷町会などがある。

私立幼稚園への公的支援を

日本共産党 伊藤 余一郎

市内には私立幼稚園が40園あり、7950人の園児がいる。就園奨励費補助金と市独自の私立幼稚園児補助金はどうになっているか。

就園奨励費補助金は、保護者の負担した入園料および保育料の範囲内で、所得に応じて交付される。私立幼稚園児補助金は、所得に関わらず本市に住民登録があり、公認の私立幼稚園に通園しているすべての園児に対し、教材費等の補助を目的に交付している。

住宅地内の車両通行に対策を

日本共産党 高橋 妙子

北松戸工業団地内の車両が住宅地に接する道路を24時間通り抜けている。深夜や通学時間帯の騒音・振動への対策をとれないか。

市内の工業団地は、本市が造成し企業誘致を行ってきたもので経済発展に大きく貢献している。本市と北松戸工業会とは、車両の通行等に関して協定は結んでいない。しかし、定期的な情報交換を行っていることから、そのような機会に周辺地域への配慮についてお願ひしていく。

サブカルチャーで商業活性化を

絆 (キズナ) 1105 由紀

漫画やアニメ・フィギュアなどで「サブカルチャーのまち・松戸」をアピールしてはどうか。

大衆、若者文化であるサブカルチャーへの関心は非常に高く、商業活性化への新たな仕掛けになると認識している。既に市内の商店会の中では、独自のキャラクターを作り、ユニークな販売促進活動を展開しているところもある。これらを他の商店会にも紹介するなど、さらに取り組みを広げたいと考える。

市立病院問題について

松政クラブ 杉山 由祥

「広報まつど」10月15日号に、「市立病院に一定の方向性」と事実無根の記事が掲載され、市民に大いなる誤解と混乱を与えた。市長自ら間違いを認め、誰がどのようにその責任を取るのか。

「広報まつど」は、市の発行物であり市の責任となる。病院建設事務局で原稿を作成し、市

長・副市長と協議し内容を固め掲載したもので、責任の所在はそれぞれの職責に応じてあるものと考えている。

議員報酬の削減を

絆 (キズナ) 大橋 博

過去の市民意識調査でも指摘されている議員報酬の削減について、基本的な考えを伺う。

議員報酬の見直しについては、特別報酬等審査会に諮問したうえで、「松戸市議会議員の給与及び費用弁償の支給に関する条例」の改正が必要となる。現在、議員報酬は月額59万円であり、近隣市と比較しても理解いただける水準と判断し、現段階では審査会への諮問は考えていない。

ごみ処理基本計画の見直しを

市民クラブ 市川 恵一

広域行政による運営を検討し、六和クリーンセンターの跡地は、ごみの焼却施設以外の用地として位置付けるべきと考えるがどうか。

平成24年度ごみ処理基本計画策定に向け、ごみ焼却処理広域化の検討も視野に入れ、実現の可能性を探りながら、慎重に検討していく。関係市と住民の同意が得られ、広域化処理が意思決定されれば、計画内容は変更されることになるかと考える。

松戸市の団地再生について

市民力 海老原 弘

常盤平団地の再生等について構想や検討の考えを伺う。

本市の発展を牽引してきたこの団地は現在、高齢化率40%を超えて、多くの課題があると考えられる。現在は、魅力ある大規模団地

検討プロジェクトを設置し、今後の団地のあり方について検討を進めている。また、平成23年7月に団地自治会主催で開催された「大規模団地の魅力づくりシンポジウム」では、芸術的観点からの評価もあり、これらも検討課題として考えていく。

急激な高齢化に対応するために

市民クラブ 岩堀 研嗣

松戸市に訪れる高齢化による急激な変化とは何か。

本市も急速な高齢化が進展しており、それに伴い介護保険給付費など、財政的な負担が増加している。また、単身高齢者世帯および高齢者夫婦世帯も年々増加しており、生活を支える人的な資源の確保がさらに求められていくと認識している。今後は、高齢者自身が地域社会の担い手となるよう、活躍の場を確保していくことが重要であると考えている。

図書館の目指すべき方向は

市民クラブ 深山 能一

図書館の現状や課題、将来の具体的なビジョンを伺う。

現在、図書館は本館と分館の20館、および子ども読書推進センターでサービスを提供している。利用者数は、インターネットによる利用環境の整備で年々増加している。課題は、施設の老朽化や図書館司書の人数が十分でないことなどがある。今後は、職員の資質向上を図り、生涯学習の拠点として、市民生活に役立つ図書館サービスの提供に取り組んでいく。

松戸版事業仕分けを振り返って

市民力 谷口 薫

2回目となる松戸版事業仕

分けが行われたが、前回からの改善点と今後の取り組みを伺う。

これまでの職員による「行政評価」と前回の外部の視点による「事業仕分け」の利点を結びつけた「事業優先度評価」を実施した。職員と外部の有識者、来場者との「対話」により、公開の場で評価を行い、改善案を作り上げるものとした。今後、得られた知見は他の事業にも応用し、全体の「行政評価」の質の向上に反映したい。

七草マラソン大会の更なる充実を

市民力 山中 啓之

年々増加する参加者の安全確保と内容を充実させるため、20kmのハーフ種目を導入する考えは。

平成22年度の参加者は3523人、23年度の申込者が4803人で、年々増加傾向にある。現在、安全確保には、警察、赤十字特殊救護奉仕団や松戸市接骨師会等にもご協力いただいている。今後は参加者の増加が予想されることから、安全確保に努めるとともにハーフマラソンの導入など、内容の充実を検討していきたい。

平日にも国旗の掲揚を

松政クラブ 桜井 秀三

市内公共施設、小中学校や高等学校に平日も国旗を掲揚する考えは。

公共施設については、施設の管理者の判断に委ねており、国旗掲揚についての通知や例規整備を行う予定はない。各学校については、それぞれの創意工夫によるものと考えており、教育委員会では改めて通知を行う予定はないが、学習指導要領の趣旨と精神を踏まえ、今後も公教育の使命を果たしていきたい。



「元気かなー?」「はい」

11月臨時会・12月定例会 審議結果

番号	件名	本会議の結果		番号	件名	本会議の結果	
11月臨時会				第42号	指定管理者の指定について(常盤平駅北口第1自転車駐車場)	同意	全会一致
市長提出議案				第43号	固定資産評価審査委員会委員の選任について	同意	全会一致
第22号	松戸市一般職の職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例の制定について	可決	多数意見	第44号	監査委員の選任について	同意	全会一致
12月定例会				第45号	監査委員の選任について	同意	全会一致
市長提出議案				議員提出議案			
第23号	平成23年度松戸市一般会計補正予算(第3回)	可決	全会一致	第13号	庶民に増税、大企業に減税の「復興増税」をやめるよう求める意見書の提出について	否決	多数意見
第24号	平成23年度松戸市病院事業会計補正予算(第1回)	可決	全会一致	第14号	安全・安心な国民生活実現のため、防災・生活関連予算の拡充と国土交通省の出先機関存続を求める意見書の提出について	否決	多数意見
第25号	松戸市空き家等の適正管理に関する条例の制定について	可決	多数意見	第15号	年金支給開始年齢の引き上げはやめるよう求める意見書の提出について	否決	多数意見
第26号	松戸市職員定数条例の一部を改正する条例の制定について	可決	全会一致	第16号	民意が反映される比例代表中心に選挙制度を改革するよう求める意見書の提出について	否決	多数意見
第27号	松戸市一般職の任期付職員の採用及び給与の特例に関する条例の一部を改正する条例の制定について	可決	多数意見	第17号	停止中の原子力発電所の再稼働はやめるよう求める意見書の提出について	否決	多数意見
第28号	松戸市職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例の制定について	可決	全会一致	第18号	環太平洋パートナーシップ協定(TPP)への参加について慎重な対応を求める意見書の提出について	可決	多数意見
第29号	市長の退職手当の特例に関する条例の制定について	可決	多数意見	第19号	防災会議に女性の視点を取り入れることを求める意見書の提出について	可決	全会一致
第30号	議会の議員その他非常勤の職員の公務災害補償等に関する条例等の一部を改正する条例の制定について	可決	全会一致	第20号	国民生活の安心と向上を図る各種基金事業の継続を求める意見書の提出について	可決	全会一致
第31号	松戸市手数料条例の一部を改正する条例の制定について	可決	全会一致	第21号	自治体クラウドの推進を求める意見書の提出について	可決	全会一致
第32号	松戸市立林間学園条例を廃止する条例の制定について	可決	全会一致	第22号	原子力エネルギー政策を転換し自然エネルギー利用の促進を求める意見書の提出について	可決	全会一致
第33号	松戸市スポーツ推進審議会条例の制定について	可決	全会一致	陳情			
第34号	松戸市健康福祉会館条例の一部を改正する条例の制定について	可決	全会一致	第6号	松戸市町会長(市政協力委員)並びに市政協力委員に松戸市からの交付金(事務取扱手数料)の廃止についての陳情	不採択	多数意見
第35号	松戸市総合福祉会館条例の一部を改正する条例の制定について	可決	多数意見	第7号	松戸市から市政協力委員への交付金についての陳情	不採択	多数意見
第36号	訴えの提起について	同意	全会一致	第10号	安心安全な公共事業を推進するため、地方建設業界の存続・発展と国土交通省の事務所・出張所の拡充・存続を求める陳情	不採択	多数意見
第37号	和解について	同意	全会一致	第11号	保険で良い歯科医療の実現を求める意見書採択を求める陳情	不採択	多数意見
第38号	損害賠償の額の決定について	同意	全会一致	第12号	千駄堀地区への新市立病院建設反対の陳情	継続	審査
第39号	市道路線の廃止及び認定について	可決	全会一致	第13号	松戸市議会会議規則第65条第2項の削除を求める陳情	不採択	全会一致
第40号	指定管理者の指定について(松戸市稔台市民センター)	同意	全会一致				
第41号	指定管理者の指定について(松戸駅東口自転車駐車場ほか51施設)	同意	全会一致				

- 環太平洋パートナーシップ協定(TPP)への参加について慎重な対応を求める意見書
- 防災会議に女性の視点を取り入れることを求める意見書
- 国民生活の安心と向上を図る各種基金事業の継続を求める意見書
- 自治体クラウドの推進を求める意見書
- 原子力エネルギー政策を転換し自然エネルギー利用の促進を求める意見書

意見書5件提出

地方自治法第99条の規定により国会及び関係行政庁に対し、次の意見書を提出しました。

人事案件

固定資産評価審査委員会委員の一人の任期満了に備え、次の方の選任に同意しました。(敬称略)
固定資産評価審査委員会委員
長山 功

議会選出監査委員

議会選出の監査委員に欠員が生じたことに伴い、新たに選任するための議案が今定例会に提出され、市川 恵一、石川 龍之の両議員が選出されました。

議会を傍聴しませんか
問い合わせ先 市議会事務局
電話 047-(366)7382

3月定例会の開催予定

平成24年松戸市議会3月定例会は、2月23日(木)から3月23日(金)まで開催される予定です。

期日	主な内容
2月23日(木)	招集日・本会議 (施政方針説明・議案説明)
24日(金)	各常任委員会(先議議案)
29日(水)	本会議(先議議案採決)
3月1日(木)	本会議(一般質問)
2日(金)	本会議(一般質問)
5日(月)	本会議(一般質問・議案質疑)
6日(火)	総務財務常任委員会
7日(水)	健康福祉常任委員会
9日(金)	教育経済常任委員会
12日(月)	都市整備常任委員会
14日(水)	予算審査特別委員会
15日(木)	"
19日(月)	"
21日(水)	"
23日(金)	本会議(議案等の採決)

※請願・陳情は2月14日(火)正午までに提出して下さい。

【インターネット放映のURL】
<http://www.gikaitv.net/dvl-matsudo/2.html>

本会議のインターネット放映

本会議の様子を、松戸市のホームページからご覧いただけます。
ライブ放映(生中継)は、本会議開始直前から終了まで議場の様子を放映します。
休憩時間は、その旨が表示されます。
録画中継(過去の議会中継)は、会議の翌日夜からの公開となります。
どうぞご覧ください。

インターネット放映アクセス件数
26万2198件
(平成17年6月開設から23年12月末まで)

次回発行予定は4月29日(日)です。

編集の窓

二〇二二年が皆様に幸多かれと、議員一同、心より願っております。さて、私たちの住む松戸市には、素敵な景色が多く残っています。市内最北端、坂川と富士川の合流地点は田畑が広がるのどかな場所です。日頃市役所付近の景色に見慣れていると別世界にきたようです。この坂川を下ってみると、主流は坂川放水路に向かい、新松戸南小学校付近で分岐し、旭町・栄町を流れ、やがて松戸市の中心部へと向かいます。高層マンションがある都市部の街並みかと思えば、昔の宿場町を思わせる町並みもあり情緒豊かです。また、宮前町付近では水と親しむことができるよう、護岸が階段状に整備されています。さらに下り、国道六号線を超えた矢切付近では、のどかな田園風景へと変貌します。わずかな数キロの坂川の流れも、実は変化に富んでいます。素敵な風景を探しに市内を散策されてはいかがでしょうか。



矢切付近の坂川